



オガグワ通信

No. 3



返還50周年記念オリジナル手ぬぐい
“小笠原50選”のモチーフになっています。

小笠原村環境課 04998-2-3111

クローン苗の故郷を訪ねて ～林木育種センター～

小笠原村と森林総合研究所林木育種センターは「小笠原諸島におけるオガサワラグワ保全に向けた植栽共同試験に関する覚書」を結び、林木育種センターで組織培養した苗を村内で育てています。今回は、その苗の故郷である林木育種センターを紹介します。



所在地：茨城県日立市十王町
敷地面積約60ha！



敷地内の遺伝資源保存園
日本から世界までの樹木を展示



←この園ではヒメツバキに近い
沖縄のイジュが外で生育中



組織培養するための色々な
機器がそろっています



苗の一部は無菌室から出て
温室でも育てられています



温室で交配した
オガグワの種子の発芽試験

オガグワの里親 第1号 ～神代植物公園～

小笠原村と林木育種センター、日本植物園協会は「オガサワラグワ里親計画」を共同事業として実施するため、覚書を結んでいます。この取組は、林木育種センターで増殖したオガグワの苗を、植物園で展示して分散保存するとともに、小笠原の自然や希少種保全の取組PRも行うものです。今回は、里親第1号となった神代植物公園を紹介します。



2019年4月の
受け渡し式後、
苗は大温室に
展示



公園内の大温室には
小笠原の植物を展示



オガグワ通信

オガグワ好きな人、
オガグワを知らない人、
オガグワナイトに来ませんか？

オガグワの集いを開催！

(2019年7月28日 @ 母島 30日 @ 父島)

小笠原が世界自然遺産に登録されて8年、令和初めての夏の夜、毎年実施してきた「世界自然遺産に関する意見交換会」において、今年は「オガサワラグワ」をテーマとした関係機関・団体の講演・発表・意見交換を行いました。今回はその集いの様子をお伝えします。

オガグワ紹介

都レンジャーによる桑しい話
(父島)

都レンジャーの
オガサワラグワ
探訪 (母島)



いつものわかりやすく
おもしろい紹介

林木育種センター

オガサワラグワの
生育域外保存と
野生復帰

- ・センター紹介
- ・保存個体の里帰りと里親計画
- ・苗の培養実演



クローン苗育ての父である板鼻氏による実演

行政機関による発表

- ・オガサワラグワの取組について (東京都)
- ・オガサワラグワの保全～国有林での取組と経緯～ (林野庁)
- ・オガグワが「種の保存法」の国内希少種に入らなかったワケ (環境省)
- ・オガグワの森／母島の森これまでとこれから (小笠原村)



父島会場の様子



母島会場の様子

野生研の発表 (父島)

オガサワラグワ
クローン苗順化育苗報告



発表のオープニングは歌で始まりました



およそ1/2スケール!?!の
オガグワの切り株写真



オガグワの葉やストラップ
キットなどの展示



取組紹介のパネル展示
(母島)



取組紹介のパネル展示
(父島)

おがぐわミーティング

「オガグワの集い」の最後に、「おがぐわミーティング」と題した意見交換を行いました。

まずは、おがぐわマップづくり

⇒山の中、街の中、どこにオガグワ（木、伐り株、材でもなんでも）ありますか？

⇒そのオガグワの思い出、印象はありますか？

次に、おがぐわPR作戦

⇒島民、内地、来島者に向けてどのようにPRするか
「ひろめ方」アイデア募集！

⇒オガグワを守るため、自分たちにはできることは何だろう
「守り方」アイデア募集！



父島会場の様子



母島会場の様子



ミーティング結果

- ・オガグワの置物持っている家多い
- ・母島の桑の木山には、夫婦グワと呼ばれる木が昔あった
- ・石門の指定ルート沿いで伐り株が見られる箇所も
- ・母島集落には由来不明のオガグワがあり、数年前にオガグワであることが判明
- ・切り株にはオオタニワタリが生えている。この雰囲気をもっとPRできるとよい
- ・明治期に伐り出されたオガグワは内地のどこへ？（明治神宮の門は知られている）
- ・オガグワは堅い木のため有用材として利用されてきた歴史があり、それらが使われている文化も大切。
- ・木こりの話など、オガグワには文化的側面があり、それを活かせるとよい
- ・大木の実物が見られる村民向けツアーがあるとファンが集まるのでは
- ・ビジターセンターでオガグワ特別展
- ・おが丸の4デッキにオガグワパネル
- ・まちなかオガグワスタンプラリー
- ・オガグワ音頭
- ・オガグワのゆるキャラ
- ・オガグワ顔出しパネル

色々なお話や
たくさんの
アイデアが
出されました。



オガグワストラップキット

オガグワに、もっと親しみと愛着を持ってもらおうと、オガサワラグワの根のかげら（本物！）を使ったストラップキットを作成し、参加者に配布しました。

オガグワのおはなし

オガサワラグワは、小笠原固有の木に生える桑の木の仲間です。かつては小笠原の多くの森に生育していましたが、黒褐色の光沢ある木理の美しさから、明治期に多く伐採され、高級家具等に利用されてしまいました。現在は父島、母島、弟島の限られた森に生育する希少な木となっていますが、今も残る切り株は、その大きさを、当時の大木の姿を想像できます。村では、オガグワの森(長谷)と母島の森(静河)に苗を植え、育てています。父島の桑ノ木山、母島の桑の木山という地名が残っているように、島民に愛され小笠原の森のシンボルとして、オガサワラグワの大木を再び見られる日が来ることを願いながら、取組を続けていきます。

令和元年 小笠原

オガグワストラップキット

オガグワストラップのつくり方



キットの中身



かけらの形、ストラップの種類を選んでもらいました。みなさん完成しましたか？





オガグワ通信

No. 5



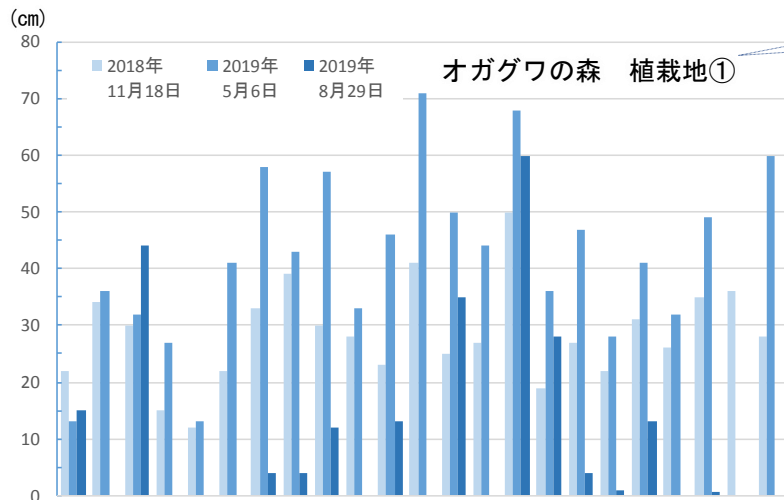
返還50周年記念オリジナル手ぬぐい
“小笠原50選”のモチーフになっています。

小笠原村環境課 04998-2-3111

オガグワ苗の2019夏の生育状況

オガグワの森と母島の森にオガグワの苗を植栽してから
8ヶ月ほど経ちました。どのくらい生長したでしょうか。

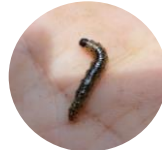
春頃から苗の元気がなくなり、その
うえ、ネズミの被害に遭ったため、
何本かは枯れてしまいました。
残った苗たち、がんばれ～！



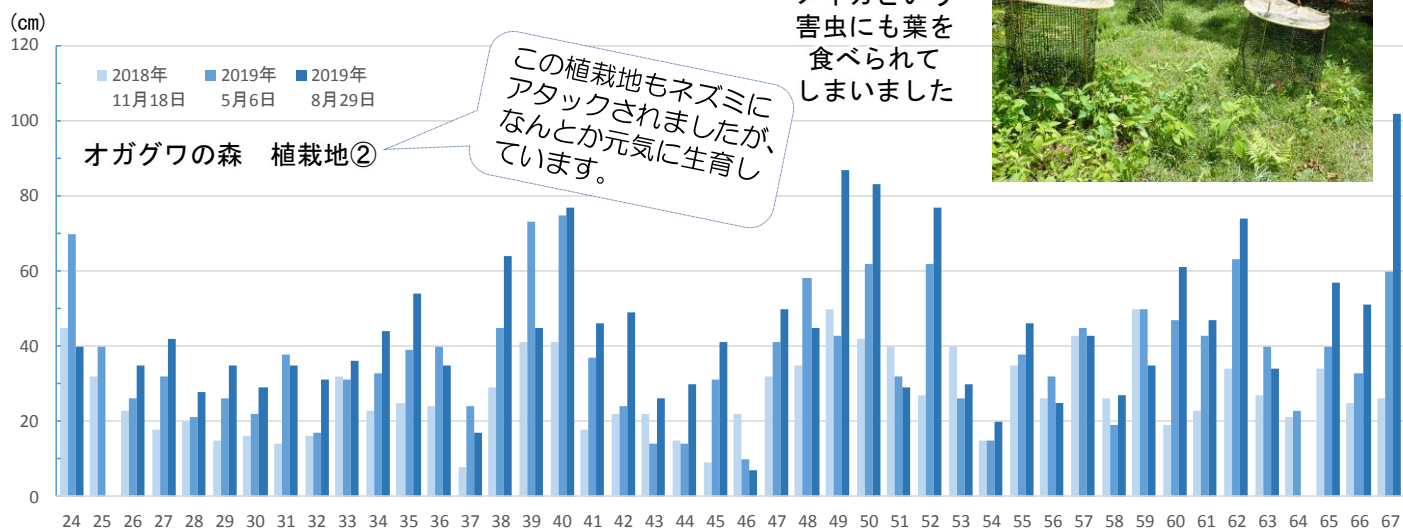
計測は野生研と農大生に
手伝ってもらいました



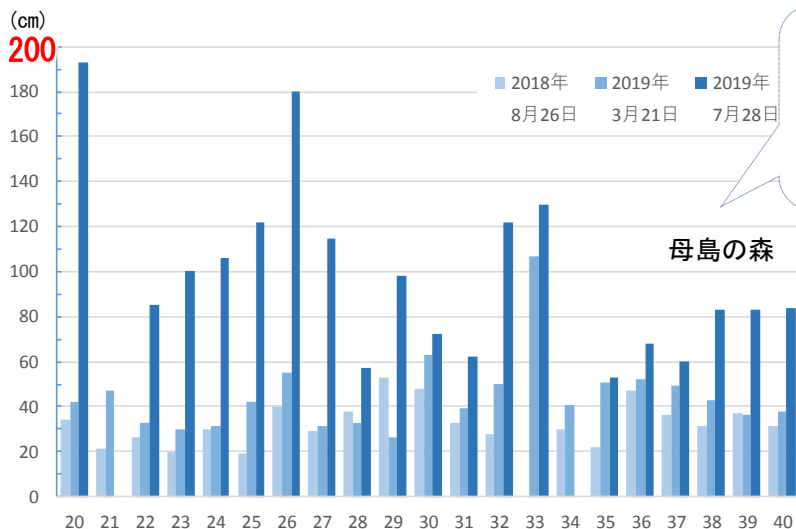
苗まわりの手入れを
しながら計測



メイガという
害虫にも葉を
食べられて
しまいました



この植栽地もネズミに
アタックされましたが、
なんとか元気に生育し
ています。



前回の計測から4カ月
余りで2m近くまで
伸びた苗も！
岩場が多く、厳しそ
うな生育環境ながら
たくましい生長です。



まわりのアカテツ
やウラジロエノキも
すくすくと生長中

